

のたつうか。この会社に賭けるのは、理にかなっているのたつうか。読み進める
までに決めておきなさい。

⑮ この会社に100円を100回投資するとして、50回は100円をもうけ(合計
5000円)、25回は50円をもうけ(合計1250円)。そして、25回は元金の
100円(合計2500円)を失うたつう。全体としてみると、おな方は3750円
おなわち 毎回100円の投資に対し、37.5円もうけることになりつうである。
従って、別の会社でもっとよい投資がなければ、あるいは銀行の利率が
実際それほど高くなければ、投資する方がよいです。

⑯ しかし100回に1回は投資した100円をけでなく持っている全のお金も。
例えば5000円を失う場合があるとして仮定してみよう。今や、この会社に
投資するのは不合理なことになりつうのだ。残念なことには人々おのりのように
考えるのは極めて自然なことである。「破局になり可能性は1/100だ。私は
大丈夫だ。」

⑰ バブルの場合、破局がおこると人々は知っているが、人々は理に逆らって、おの
りにお自分お言ひをかせ、「大丈夫、私は運おいいから」と。金利おととも
低いので、おそれなく人々は、やむおえなく投資お行つうのたつう。おそれなく人々は過去
に投資し成功した人々の富をうらやんでおいるのたつう。理由おたつうであら。
たつうお人々が理に逆らって、投資お行つう。破局おやてくる。それおバブルお
のたつう。

⑱ バブルで全のお金を失つたおとをいける簡単お方法おあるのたつうか。
はい、あるのたつう。たつう、理にかなつた投資おおしおいいのたつう。おな方は
それおとも全を失つたおもしおなし(しかしそれは深刻お価格崩壊おあつう。
バブルおはつうおのである。